

平成２７年度第２回大津町振興総合計画等評価委員会 議事録（保存用）

１．日 時：平成２７年１２月２２日（火）午後１時３０分～午後３時００分

２．場 所：大津町役場別館 電算室３階 ミーティングルーム

３．議題等

- (１) 開会
- (２) 委員長あいさつ
- (３) 議事

１) 大津町振興総合計画基本事業の評価について

経済部（農政課・商業観光課・企業誘致課） 農業委員会

２) その他

４．出席委員等

関係団体等	氏 名	備 考
学識経験者（熊本県立大学教授） ※委員長	明石 照久	出席
大津町民生委員・児童委員協議会会長 ※副委員長	豊住 幸夫	出席
大津町企業連絡協議会会長	鳥栖 彰孝	出席
大津町区長会会長	宇野 馨	出席
女性グループ（大津町女性の会会長）	坂本 晶江	欠席
公募委員	大畠 照雄	出席
大津町教育委員	首藤 誠治	出席
公募委員	緒方 正男	出席
J A 菊池大津中央支所	瀬川 友次	出席
障害者関係団体（大津町身障者福祉会）	中村 静次	出席
商工会（商工会理事・総務委員長）	西川 秀貢	出席
肥後おおづ観光協会	山下 和貴	出席
公募委員	与古田 公子	出席

５．委員会傍聴人 ２名

(1)開会

(2)委員長挨拶

(3)議事 2) 大津町振興総合計画基本事業の評価について

農政課 (P1～15、P18～23について) 農政課長より説明。

前年度 評価委員会の意見に対する回答

- ・後継者育成を重点として、現在以上の対応をお願いしたい。

事務事業としては、農業後継者育成事業を展開しており、各種研修会への参加助成や独身農業後継者を対象としたカップリングパーティーを開催しております。また、担い手育成総合支援事業において、青年就農給付金というのがあり、新規の就農者を支援するため45歳未満の新しく農業を始める方に対して支援を行っております。平成26年度は6名の実績となっており、平成27年度は12名で実績が伸びております。

- ・町特産品の有利販売に行政も参加して欲しい。

様々な販売会等がありますので、出来る限り農政課の職員も参加していきたいと考えている。

- ・農業者への対策資金への強力な支援と、農業への行政の関わりをもっと強化して欲しい。

いくつかの利子補給に対する助成を行っております。また、併せて各種補助も行っているところです。更に今後はTPP等により農家に対する支援等を行う必要があると思われる。

- ・森林育成の為の学習や体験ができる場所の提供についても力を入れて下さい。

森林公園を通じて自然とふれあい、森との語らいができ、日常生活では満たされない自然のやすらぎのためのレクリエーションの場として整備しており、森林学習や森林育成のための体験の場を提供したいと考えているところです。

委員長 ありがとうございます。農政課関係の基本事業評価調書に基づいて説明をいただきました、それでは、ただいまのご説明に対して、ご意見・ご質問をいただければと思います。

瀬川委員 多面的機能支払交付金事業の継続性はあるのでしょうか。

農政課 当初は、農地・水事業ということでスタートしましたが、平成26年度より多面的機能支払交付金事業ということで名称が変わり、法的にも整備され国50%・県25%・町25%の負担率で28の地域・団体の方々に事業を行っていただいております。農地景観整備や農道・水路整備など地域の方々を中心の事業を実施していただいております。なお、法的に整備されましたが、いつまで国の助成が続くのか見えないところがあります。町としては可能な限り制度を続けていただくよう国・県をお願いをしていきたいと考えております。

瀬川委員 多面的機能支払区付近事業については、地域コミュニティの醸成に重要な役割をもたらしていると思われるので、今後も継続できるよう働きかけをお願いしたいと思います。次に、前年度 評価委員会の意見に対する回答で、農業者への対策資金への強力な支援と農業への行政の関わりをもっと強化して欲しいということで、いくつかの利子補給に対する助成や、各種補助も行っており、更に今後はTPP等により農家に対する支援等を行う必

要があると思われる。ということでしたが、畜産事業においては国のクラスター事業ということで、2分の1補助事業がありますが、一般農作物の野菜等につきましてもクラスター事業に準ずるような事業が創設されるということですが、これに対する町の計画を策定しているのでしょうか。

農政課 クラスター事業については菊池郡市で取り組むということで、JA菊池を中心として協議会が設置されております。なお、野菜等の一般作物については、どうかという話があるという聞いております。また、TPPに関する事業について、具体的な事業は県から示されていない状況で、平成27年度の補正予算対応での事業実施を検討しているという話は聞いておりますが、町を通さずに実施する事業で計画しているため、町への情報提供がされていないということでした。県に対しては、今後は情報提供をしていただくよう依頼をしております。このような状況のため、今後は内容を確認しながら、町としてどのような支援ができるのか検討していきたいと考えております。ただ心配なことに、クラスター事業同様ということであれば、協議会形式を取ることにになりますので、一般作物農家がどのような範囲や形で進められるのか検討していかなければならないと考えております。

瀬川委員 検討されている新たな事業につきまして、JAには説明があつておりました。新しい野菜産地づくり総合対策事業という国庫補助事業で、国2分の1、残りは県・市町村・事業主体ということで説明があつております。採択には様々な要件がありますので、これらにつきましては、町でもご理解いただきご協力いただければと思います。なお、畜産以外の農業のパワーアップ事業ということで、クラスター事業のような内容でスタートすると聞いております。次に、認定農業者についてお伺いしたいと思いますが、現在160名程度いると思いますが、活動の方向性を明確に示していただきたいと考えており、活動についても活発化していただければと思います。

農政課 委員が言われるとおり、認定農業者協議会を立ち上げているものの、活動については少ないと感じておりますが、今までのように行政主導での事業を展開するのではなく、認定農業者を主体とした事業が展開できるように取り組んで行きたいと考えております。

瀬川委員 認定農業者については、今後の農業においては非常に重要なポジションあると思いますので、意見を言わせていただきました。特産品とPRしている「からいも」について、276ヘクタール、7,000トンということで記載されておりますが、生産農家については、以前40戸だったのが、現在は38戸と減少しております。しかしながら、生産額については、対前年比112%ということで、町の協力もあり高単価で販売ができているのではないかと考えておりますので、今後も更なるご支援をお願いしたいと思います。

農政課 現在、台湾・香港への直通便が就航したこともあり、経済連が中心となって「からいも」の輸出を行っておりますが、市町村がどのような形で関与できるのか模索しておりますが、積極的に取り組んで行きたいと考えているところであり、「からいも」のブランド化につきましても、県内での認知度は高いと自負しておりますが、全国的な認知度については、まだまだだと思っておりますので、全国展開は一つの課題だと認識しております。

瀬川委員 新規就農者についてですが、説明では数名の方が就農されたとありました。これは以前からお願いしているところですが、以前は後継者育成資金ということで、親元就農者にも新規就農支援金が出されていましたが、現在、親元就農者に対しては支援金があり

ません。全く違う作物であれば該当するとのことですが、後継者イコール親元就農がほとんどだと思います。この様な中、新規事業を起こすのであれば農地取得から必要となるため、非常に大変だと思いますので、これらについて、町独自でも支援をいただけないかと思います。ＪＡ自体も親元就農への支援が確立されていない状況ではありますが、行政の力も借りながら進めて行きたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

農政課 新規就農者への支援については、充実しつつあるとは思いますが、委員が言われる親元就農への支援については、未だ整備がされていないところがありますので、国・県に対して要望するとともに、町独自で関与できる部分があるのであれば、ＪＡとも連携しながら進めていきたいと考えております。

緒方委員 用水井出の関係ですが、白川から取水をしている場所があると思いますが、取水口の水門操作は、人が直接行っているのでしょうか。

農政課 平成２５年度に上井手・下井出取水口の電動化を図っており、遠隔操作が可能となっております。

大畠委員 各事業の成果指標目標値について、事業自体が継続事業であれば、最終年度の目標と比較するのではなく、年度ごとの目標値を設定していただいた方が、評価しやすいと思います。また、からいもの作付面積が成果指標とされていますが、実績値が毎年変わらないのは理由があるのでしょうか。

事務局 ご意見ありがとうございます。後期基本計画策定時に５年間の計画を作成しております。この中に、作成時の現状値があり５年後の目標値を設定しておりますが、課によって年度ごとの設定方法が違っており、非常に分かりにくいとは思いますが、今後は、成果指標設定に関して、統一した見解・方法で設定するよう考えて行きたいと思っております。

農政課 委員から意見がありました、からいもの作付面積についてですが、これについては、農林業センサスにおける数値を記載しているところです。なお、からいもの作付面積について、ＪＡ出荷の農家は把握できるのですが、からいも農家の半分以上はＪＡ出荷ではありませんので、毎年の作付面積を把握することが難しい状況となっております。

大畠委員 成果指標に数値を掲げる以上は、現状を把握できる数値としていなければ目標値とはならないと思いますが、全体的にその様な状況に見えます。成果指標での評価が非常に難しい状況にあります。何らかの評価はさせていただきたいとは思いますが、今後は成果指標の目標値について、内容を検討していただければと思います。

瀬川委員 最近阿蘇山の火山活動も活発化しておりますので、町としても防災営農計画を立てていただきたいと思います。

中村委員 総合交流ターミナル関連施設維持管理事業において、平成２７年度に４９、１６０万円の予算が確保されておりますが、どのような事業を実施されたのですか。

農政課 これについては、総合交流ターミナルの浴槽改修を予定しておりました。３月末まで指定管理にて運営を行っていましたが、計画期間満了と合わせて、施設改修のため一時閉館しました。しかしながら、改修をすすめるうちに更なる改修が必要であることが分かりました。当初は５千万円以内での改修工事を予定しておりましたが、１億円を超える改修費用が必要となることが判明したため、全体的な改修工事をストップし、温泉部分については休止をした状態となっております。よって４、９００万円程度の予算を確保しておりますが、実際に支出している金額はかなり低くなっております。なお、今後

つきましては、利活用をどうするのか検討を進めているところです。

委員長 他に、ご意見・ご質問ありませんでしょうか。時間もかなり経過しておりますので、次の課に移りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(意見・質疑なし)

委員長 それでは、農政課については以上に止めさせていただき、次のご説明をお願いいたします。

農業委員会 (P16～17について) 農業委員会事務局長より説明。

委員長 ありがとうございました。農業委員会関係ご説明をいただきました、それでは、ただいまのご説明に対して、ご意見・ご質問をいただければと思います。

(意見・質疑なし)

委員長 よろしいでしょうか。ご質問等なければ、次の課に移りたいと思います。それでは、農業委員会については、以上に止めさせていただき、次は商業観光課のご説明をお願いいたします。

商業観光課 (P24～26、P30～35について) 商業観光課長より説明。

前年度 評価委員会の意見に対する回答

- ・文化的遺産は他の市町村に比べても落ちているとは思えない。例えば、「文化遺産江戸宿場町」を利用したイベントが創造できないか。

本年度に、肥後おおづ観光協会主催のイベントにて、熊本城戦国武将隊を招致されております。また、次年度が合併60周年ということもありますので、これに活かせるようなイベントができればと考えております。

委員長 ありがとうございました。ただいま商業観光課関係の説明をいただきましたが、商業観光課の基本事業に関しまして、ご意見・ご質問をお願いします。

与古田委員 観光マップや飲食店マップを作成し、町外に観光PRを行っていると思いますが、目的別のマップがいくつかある程度で、更にそれらの地図も簡略した地図のため観光客への説明がしづらいと聞いております。今後、観光マップを作る予定があるのであれば、詳細地図が掲載されたマップも作っていただきたい。

商業観光課 ご意見ありがとうございます。詳細地図が掲載されたマップも作成したいと思っております。

豊住委員 着地型観光ということで、商工会や観光協会で連携してフットパス事業を進めていると思いますが、北部・中部・南部とコースはあるようですが、実際にこれを知って歩いている人がいるのか。お伺いしたい。

商業観光課 現状としては、コース作りまではしましたが、実際にフットパスをするとすると、地域のおもてなし等が必要となりますので、今後、それらの状況整備を行って行きた

いと考えております。

委員長 その他、ご意見・ご質問ありませんでしょうか。特に無いようであれば、最後に企業誘致課の基本事業のご説明をお願いいたします。

企業誘致課 （P 27～29について）企業誘致課長より説明。

委員長 ありがとうございます。ただいま企業誘致課関係の説明をいただきましたが、ただいまの説明について、ご意見・ご質問があればお願いします。

鳥栖委員 企業連絡協議会長として参加させていただいており、企業連絡協議会についても説明がありましたが、現在69社が参加しており、調書における基本目標に企業の新たな立地とあります。町内には3つの工業団地がありますが、既に空きがない状況となっております。新たな工業団地の造成は難しいと思いますので、企業誘致課において、空き倉庫や企業進出が可能と思われる空き地等の情報収集を行っていただき、進出を希望する企業や、地場で増設等を希望されている企業に対して、情報提供していただければと思います。

委員長 他にご意見・ご質問ありませんでしょうか。
（意見・質疑なし）

委員長 ご意見・ご質問ないようなので、企業誘致課について、これまでとさせていただきたいと思います。

これで、本日予定をしておりました議事は以上となります。長時間にわたりありがとうございました。そのほか、事務局から何かありましたらよろしくお願いします。

事務局 長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。第2回目の評価調書の提出については、次回の評価委員会までにご提出をいただければと考えております。なお、成果指標につきましては、いろいろとご意見をいただいておりますが、これにつきましては、平成23年度に手作りで作成をしており、項目の設定等について不十分な点が少々ございますが、平成30年度より新たな振興総合計画のスタートを考えており、次年度以降に成果指標につきましても見直しを進めて行きたいと考えておりますので、次期計画で見直したいと考えております。ご理解いただければと思います。

なお、次は土木部に関してヒアリングを実施したいと考えておりまして、予定としては1月下旬に実施したいと考えておりますので、正式に決定しましたら通知させていただきます。

委員長 それでは、本日はこれを持って終了とさせていただきます。皆様ありがとうございました。